

本科 1 期 7 月度

解答

Z 会東大進学教室

中 2 選抜東大・医学部数学

中 2 数学

中 2 東大数学



## 1 1 章 相似 (3)

### 問題

- 【1】 (1)  $\triangle ABC$  において,  $AM = MB$ ,  $AN = NC$  だから, 中点連結定理より,  
 $x = 2MN = 2 \times 4 = 8$
- (2)  $\triangle ABC$  において,  $AP = PB$ ,  $PR \parallel BC$  だから, 中点連結定理の逆より,  
 $y = \frac{1}{2}BC = \frac{1}{2} \times 6 = 3$   
 また,  $AR = RC$  であることより,  
 $\triangle ACD$  において,  $CR = RA$ ,  $AD \parallel RQ$  だから, 中点連結定理の逆より,  
 $z = 2RQ = 2 \times (5 - 3) = 4$

- 【2】  $\triangle ABC$  において,  
 $BP = PA$ ,  $BQ = QC$  だから, 中点連結定理より,  
 $PQ \parallel AC \dots\dots ①$   
 $PQ = \frac{1}{2}AC \dots\dots ②$   
 よって,  $\triangle PQR$  において,  $RC = CQ$   
 ①より,  $SC \parallel PQ$  だから, 中点連結定理の逆より,  
 $RS = SP \dots\dots ③$   
 $SC = \frac{1}{2}PQ \dots\dots ④$   
 (1) ③より,  $PS = SR = 12$  (cm)  
 (2)  $SC = x$  (cm) とすると, ②より,  $PQ = \frac{1}{2}(21 + x)$  (cm)  
 ④より,  $PQ = 2x$  (cm)  
 したがって,  $\frac{1}{2}(21 + x) = 2x$  より,  $x = 7$  (cm)

<別解>

②より,  $PQ : AC = 1 : 2$

④より,  $PQ : SC = 2 : 1$

したがって,

$$\begin{array}{rcl} PQ : AC & = & 1 : 2 \\ PQ : SC & = & 2 : 1 \\ \hline PQ : AC : SC & = & 2 : 4 : 1 \end{array}$$

よって,  $AC : SC = 4 : 1$  より,  $AS : SC = 3 : 1$

ゆえに,  $SC = \frac{1}{3}AS = \frac{1}{3} \times 21 = 7$  (cm)

【3】△ACDにおいて、

$$AF = FD$$

$$AE = EC$$

だから、中点連結定理より、

$$FE = \frac{1}{2}DC \dots\dots ①$$

△ABCにおいて、同様に、中点連結定理より、

$$EG = \frac{1}{2}AB \dots\dots ②$$

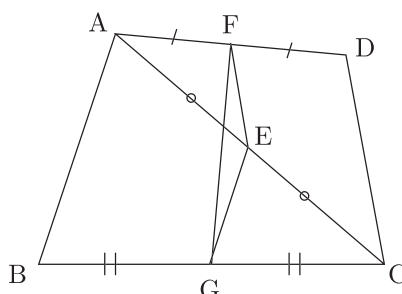
仮定より、

$$AB = CD \dots\dots ③$$

①, ②, ③より、

$$FE = GE$$

よって、△EFGはEF=EGの二等辺三角形である。 (証明終)



【4】ア //

イ 2

ウ 1

エ ∠LMP

オ ∠MLP

カ ∞

キ 2

ク 1

ケ 2

コ 1

サ 2

シ 1

ス ∞

セ 2

ソ 1

タ 2

チ 1

ツ 2

テ 1

【5】(1) Gは、△ABCの重心だから、ADは中線である。

つまり、Dは辺BCの中点だから、 $BD = 12 \times \frac{1}{2} = 6$  (cm)

(2)  $AG : GD = 2 : 1$  より、 $GD = \frac{1}{3}AD = \frac{1}{3} \times 9 = 3$  (cm)

(3)  $EF \parallel BC$  より、 $\triangle AEF \sim \triangle ABC$

また、 $EF : BC = AE : AB = AG : AD = 2 : 3$

よって、 $EF = \frac{2}{3}BC = \frac{2}{3} \times 12 = 8$  (cm)

【6】(1)  $FA \parallel BC$ ,  $FB \parallel AC$  より、2組の対

辺が平行だから、四角形FBCAは平行

四角形。ゆえに、 $FA = BC \dots\dots ①$

$AE \parallel BC$ ,  $AB \parallel EC$

より、同様にして、

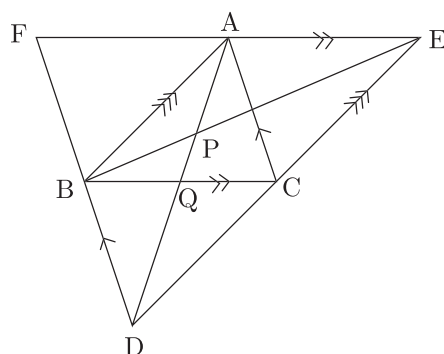
また、 $AE = BC \dots\dots ②$

①, ②より、

$FA = AE \dots\dots ③$

よって、Aは線分EFの中点である。

(証明終)



(2) (1) と同様に、四角形 FBCA は平行四辺形だから、

$$FB = AC$$

四角形 ABDC は平行四辺形だから、

$$BD = AC$$

ゆえに、 $FB = BD \dots\dots ④$

③、④より、AD、EB は、 $\triangle FDE$  の中線であり、点 P はその交点だから、点 P は  $\triangle FDE$  の重心である。

ゆえに、 $DP : PA = 2 : 1$  より、

$$\begin{aligned} DP &= AD \times \frac{2}{3} \\ &= 9 \times \frac{2}{3} = 6 \end{aligned}$$

④と  $FA \parallel BQ$  から、中点連結定理の逆より、

$$AQ = QD$$

ゆえに、 $QD = AD \times \frac{1}{2} = 4.5$

よって、

$$\begin{aligned} PQ &= DP - QD \\ &= 6 - 4.5 = \mathbf{1.5 \text{ (cm)}} \end{aligned}$$

【7】 四角形 ABCD は平行四辺形だから、

$$AE = FC$$

$$AE \parallel FC$$

1 組の対辺が平行で長さが等しいから、四角形 AECF は平行四辺形。

ゆえに、 $AF \parallel EC \dots\dots ①$

$\triangle ABG$  において、

$$AE = EB \text{ と } ① \text{ から}$$

中点連結定理の逆より、

$$BH = HG \dots\dots ②$$

$\triangle DHC$  において、同様に、

$$DG = GH \dots\dots ③$$

②、③より、 $BH = HG = DG$

よって、H、G は対角線 BD を 3 等分する。

(証明終)

<別解>

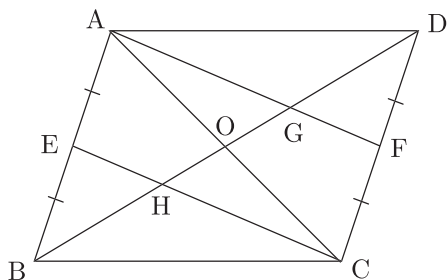
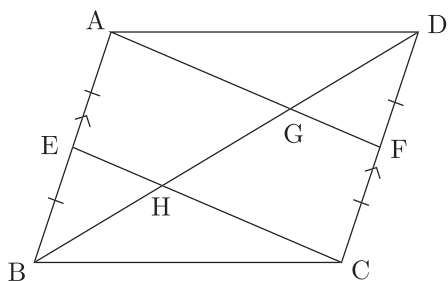
対角線 AC をひき、BD との交点を O とする。対角線は、おのおのの midpoint で交わるから、

$$BO = DO \dots\dots ①$$

$$AO = CO \dots\dots ②$$

$\triangle ABC$  において、②より、BO は中線。

また、仮定より CE は中線。



ゆえに、点 H は  $\triangle ABC$  の重心. よって、 $BH : HO = 2 : 1$  より、

$$HO = \frac{1}{3}BO \dots\dots\dots ③$$

$$BH = \frac{2}{3}BO \dots\dots\dots ④$$

$\triangle DAC$  において、同様にして、点 G は  $\triangle DAC$  の重心. よって、 $DG : GO = 2 : 1$  と、①より、

$$GO = \frac{1}{3}DO = \frac{1}{3}BO \dots\dots\dots ⑤$$

$$DG = \frac{2}{3}DO = \frac{2}{3}BO \dots\dots\dots ⑥$$

③、④、⑤、⑥より、

$$BH : HG : GD = \frac{2}{3}BO : \left( \frac{1}{3}BO + \frac{1}{3}BO \right) : \frac{2}{3}BO \\ = 1 : 1 : 1$$

よって、G、H は、対角線 BD を 3 等分する. (証明終)

【8】(1) 仮定より、

$$EB \parallel FD, \quad EF \parallel BD$$

2 組の対辺が平行だから、四角形 EBDF は

平行四辺形である. よって、

$$EF = BD \dots\dots\dots ①$$

$$EB = FD$$

仮定より、

$$AE = EB$$

$$\text{ゆえに、} AE = FD \dots\dots\dots ②$$

ここで、A と F、E と D を結ぶ.  $AE \parallel FD$  と

②より、1 組の対辺が平行で、長さが等しいから、四角形 AEDF は平行四辺形. ゆえに、

$$AF \parallel ED \dots\dots\dots ③$$

$$AF = ED \dots\dots\dots ④$$

いま、EC と BD の交点を G とすると、BD と CE は  $\triangle ABC$  の中線だから、点 G は  $\triangle ABC$  の重心である. A と G を直線で結び、BC との交点を H とする. AH は  $\triangle ABC$  の中線だから、

$$BH = HC = \frac{1}{2}BC$$

$\triangle ABC$  で、 $AE = EB$ ,  $AD = DC$  だから、中点連結定理より、

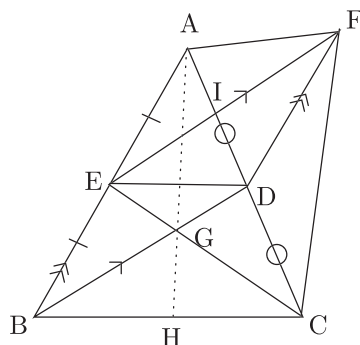
$$ED = \frac{1}{2}BC$$

$$ED \parallel BC \dots\dots\dots ⑤$$

$$\text{ゆえに、} ED = HC \dots\dots\dots ⑥$$

③、④、⑤、⑥より、1 組の対辺が平行で長さが等しいから、四角形 AHCF は平行四辺形である. よって、 $AH = FC \dots\dots\dots ⑦$

⑦より、FC は  $\triangle ABC$  の中線 AH の長さに等しい. (証明終)



(2) AC と EF の交点を I とする.

(1) より, 四角形 AEDF は平行四辺形だから,

$$AI = ID = \frac{1}{2}AD \dots\dots\dots ⑧$$

$$EI = IF \dots\dots\dots ⑨$$

また,  $AD = DC$

ゆえに, ⑧より  $ID = \frac{1}{2}DC$  だから,

$$\begin{aligned} DC : ID &= DC : \frac{1}{2}DC \\ &= 2 : 1 \end{aligned}$$

ここで, ⑨より CI は  $\triangle CEF$  の中線である. よって, 点 D は中線 CI を  $2 : 1$  の比に分けるので,  $\triangle CEF$  の重心である. (証明終)

【9】 点 P を通り, BC に平行な線をひき, DC との交点を H とする.

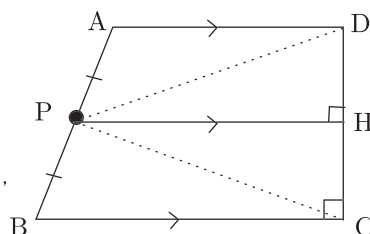
$AD \parallel PH \parallel BC$ ,  $\angle BCD = 90^\circ$  より,  
 $\angle PHD = 90^\circ$

$AP = PB$ ,  $AD \parallel PH \parallel BC$  だから, 台形 ABCD で,

$$\begin{aligned} PH &= \frac{1}{2}(AD + BC) = \frac{1}{2} \times (6 + 8) \\ &= 7 \end{aligned}$$

よって, 求める面積は,

$$\triangle DPC = \frac{1}{2} \times DC \times PH = \frac{1}{2} \times 5 \times 7 = \frac{35}{2}$$



【10】 (1) DQ を結び, その延長と BC の交点を R と

する.  $\triangle AQD$  と  $\triangle CQR$  において,

仮定より,  $AQ = CQ$

対頂角より,  $\angle AQD = \angle CQR$

$AD \parallel BC$  より,  $\angle QAD = \angle QCR$

1 辺とその両端の角がそれぞれ等しいので,

$$\triangle AQD \equiv \triangle CQR$$

したがって,

$$AD = CR \dots\dots\dots ①$$

$$DQ = QR \dots\dots\dots ②$$

$\triangle DBR$  において, ②と  $DP = PB$  から, 中点連結定理より,

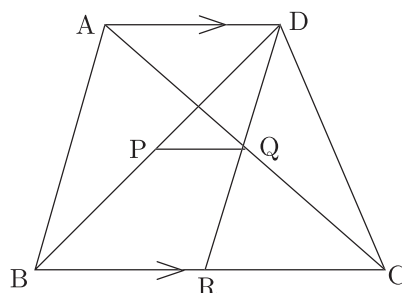
$$PQ \parallel BC$$

また,  $PQ = \frac{1}{2}BR$  だから, ①より,

$$PQ = \frac{1}{2}BR = \frac{1}{2}(BC - CR) = \frac{1}{2}(BC - AD) \quad (\text{証明終})$$

<別解>

$AD \parallel BC$ ,  $AQ : QC = DP : PB$  より,  $PQ \parallel BC$  を示してもよい.



(2) (1) より,

$$PQ = \frac{1}{2} \times (11 - 7) = 2$$

【11】BP の延長と AC の延長との交点を D, CQ  
の延長と AB との交点を E とする.

$\angle BAP = \angle DAP$ ,  $\angle BPA = \angle DPA = 90^\circ$  より,

$\triangle ABD$  は二等辺三角形

$\therefore AB = AD \dots \textcircled{1}$ ,  $BP = PD \dots \textcircled{2}$

同様にして,

$AE = AC \dots \textcircled{3}$ ,  $EQ = QC \dots \textcircled{4}$

$\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{3}$  より

$$BE = AB - AE$$

$$= AD - AC$$

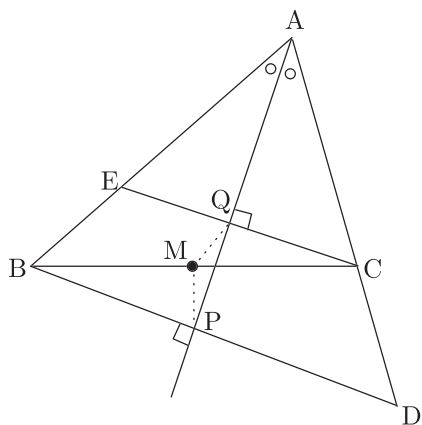
$$= CD \dots \textcircled{5}$$

$\textcircled{2}$  と  $BM = MC$  より, 中点連結定理から  $MP = \frac{1}{2}CD$

$\textcircled{4}$  と  $BM = MC$  より, 同様に  $MQ = \frac{1}{2}BE$

これらと  $\textcircled{5}$  より,  $MP = MQ$

よって, 三角形  $MPQ$  は二等辺三角形である. (証明終)



【12】 AB, AC の中点を L, N とすると,  
 $AL=LB$ ,  $AG=GA'$  より, 中点連結定理か  
 ら  $LG \parallel BA'$

同様にして,  $GN \parallel A'C$

よって四角形  $GBA'C$  は平行四辺形とな  
 る.

平行四辺形の対辺は等しいので

$$BG = A'C$$

一方,  $\triangle BGB'$  が正三角形であることから

$$BG = B'G$$

$$\therefore A'C = B'G \dots \textcircled{1}$$

また  $A'C$  と  $B'G$  との交点を D とすると,

$BG \parallel DC$  より  $\angle GDC = \angle DGB = 60^\circ$

一方,  $\triangle GC'C$  は正三角形なので,  $\angle GC'C = 60^\circ$

$$\therefore \angle GDC = \angle GC'C$$

$$\therefore \angle A'CC' = \angle B'GC' \dots \textcircled{2}$$

①, ② および  $CC' = GC'$  より,

$$\triangle A'CC' \equiv \triangle B'GC' \quad (2 \text{ 辺夾角})$$

$$C'A' = C'B' \dots \textcircled{3}$$

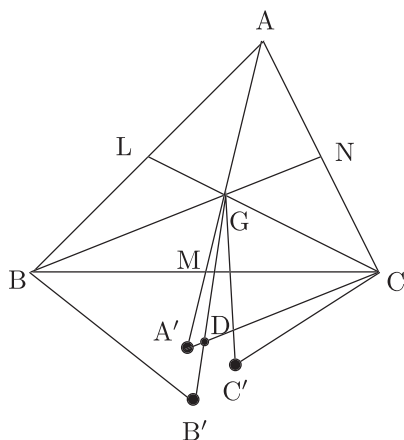
また,  $\angle A'C'C = \angle B'C'G$

$$\therefore \angle B'C'C - \angle A'C'B' = \angle B'C'C - \angle GC'C$$

$$\therefore \angle A'C'B' = \angle GC'C = 60^\circ \dots \textcircled{4}$$

③, ④ より,  $\triangle A'B'C'$  は頂角  $60^\circ$  の二等辺三角形なので, 正三角形である.

(証明終)





# 添削課題

- 【1】△ABF において、中点連結定理より、 $DE \parallel BF \dots \textcircled{1}$

$$DE = \frac{1}{2}BF \text{ より, } BF = 5 \times 2 = 10$$

△CED において、F は CE の中点で、①より、 $DE \parallel BF$

だから、中点連結定理の逆より、

$$GF = \frac{1}{2}DE = 2.5$$

よって、 $BG = BF - GF = 7.5$

- 【2】PQ の延長と CD の交点を R とする。

△DBC において、 $DP = PB$ ,  $PR \parallel BC$  だから、

中点連結定理の逆より、

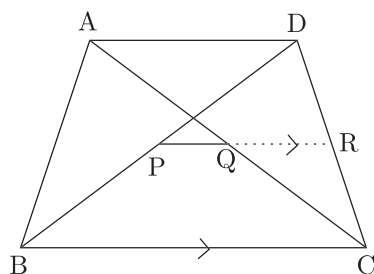
$$DR = RC, \quad PR = \frac{1}{2}BC$$

同様に、△CDA において、 $DR = RC$ ,  $QR \parallel AD$

だから、 $QR = \frac{1}{2}AD$

よって、

$$PQ = PR - QR = \frac{1}{2}BC - \frac{1}{2}AD = \frac{1}{2}(BC - AD) \quad (\text{証明終})$$



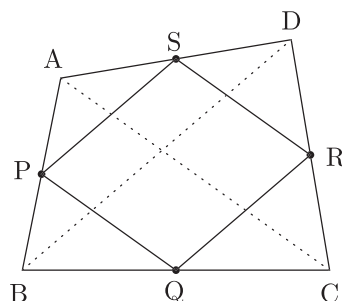
- 【3】(1) △ABD で、S, P はそれぞれ AD, AB の中点だから、中点連結定理より、

$$PS \parallel BD, \quad PS = \frac{1}{2}BD \quad \dots \textcircled{1}$$

同様に、△CBD で、Q, R はそれぞれ BC, CD の中点だから、

$$QR \parallel BD, \quad QR = \frac{1}{2}BD \quad \dots \textcircled{2}$$

①, ②より、四角形 PQRS は 1 組の対辺が平行で、その長さが等しいから、平行四辺形である。 (証明終)



- (2) △DAB で、S, N はそれぞれ AD, BD の中点だから、中点連結定理より、

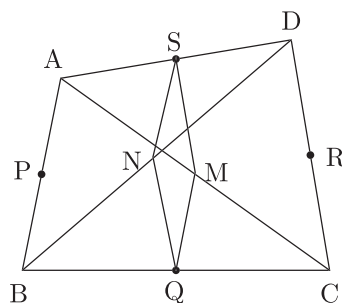
$$SN \parallel AB, \quad SN = \frac{1}{2}AB \quad \dots \textcircled{3}$$

同様に、△CAB で、M, Q はそれぞれ AC, BC の中点だから、

$$MQ \parallel AB, \quad MQ = \frac{1}{2}AB \quad \dots \textcircled{4}$$

③, ④より、SNQM は平行四辺形だから、SQ と MN は互いの中点で交わる。また、

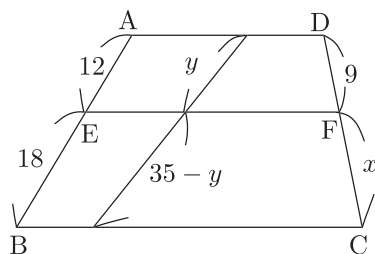
(1) より、平行四辺形 PQRS において、PR と SQ も互いの中点で交わるから、PR, SQ, MN は一点で交わる。 (証明終)



## 小テスト

- 【1】  $AD \parallel EF \parallel BC$ ,  $AE : EB = 2 : 3$  だから,  
 $DF : FC = AE : EB$  より,  $9 : x = 2 : 3$ .  
 よって  

$$x = \frac{27}{2}$$
  
 また,  $y : (35 - y) = AE : EB = 2 : 3$ . よって  
 $3y = 2(35 - y)$  より,  $5y = 70$   
 よって,  $y = 14$



## 12章 相似 (4)

### 問題

【1】(1)  $AB : AC = BD : DC$  より,

$$10 : 6 = x : y$$

$$x : y = 5 : 3$$

$$x + y = 12 \text{ より,}$$

$$x = 12 \times \frac{5}{5+3} = \frac{15}{2}$$

$$y = 12 \times \frac{3}{5+3} = \frac{9}{2}$$

(2)  $CA : CB = AD : DB$  より,

$$8 : x = 4 : 6$$

$$\therefore x = 12$$

$DE \parallel AC$  より,

$BC : EC = BA : DA$  より,

$$12 : y = (6+4) : 4$$

$$y = \frac{24}{5}$$

【2】 $\angle ABE = \angle CBE$  より,

$$AE : EC = BA : BC = 9 : 6 = 3 : 2$$

よって,  $AE : AC = 3 : (3+2) = 3 : 5$

したがって,  $\triangle ADE \sim \triangle ABC$  で, その相似

比は,  $AE : AC = 3 : 5$

だから, 周の長さの比も  $3 : 5$  である.

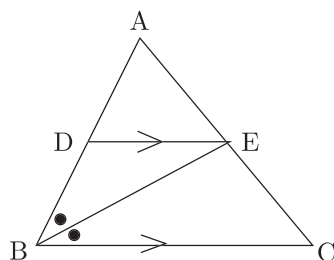
ゆえに,

$$(\triangle ADE \text{ の周の長さ}) : (\triangle ABC \text{ の周の長さ}) = 3 : 5$$

$$(\triangle ADE \text{ の周の長さ}) : (9+6+10) = 3 : 5$$

$$(\triangle ADE \text{ の周の長さ}) : 25 = 3 : 5$$

$$(\triangle ADE \text{ の周の長さ}) = 15$$



【3】ME は  $\angle AMB$  の 2 等分線だから,

$$AE : EB = AM : BM \dots\dots ①$$

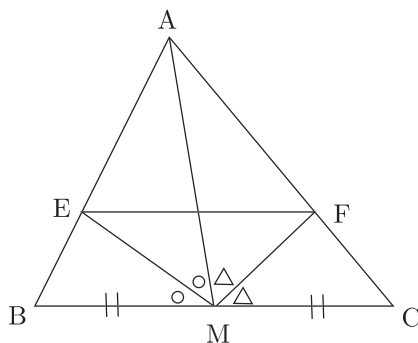
MF は  $\angle AMC$  の 2 等分線だから,

$$AF : FC = AM : CM \dots\dots ②$$

仮定より,  $BM = CM$  だから, ①, ②より,

$$AE : EB = AF : FC$$

よって,  $EF \parallel BC$  (証明終)



- 【4】 (1) それぞれ AD, DB を底辺とみると, 2つの三角形は高さが等しいので,  
 $\triangle ADC : \triangle DBC = AD : DB = 9 : 6 = \mathbf{3 : 2}$

(2)  $\triangle ABC : \triangle DBC = 5 : (8 - 5) = \mathbf{5 : 3}$

(3)  $DE \parallel BC$  より,  $\triangle ADE \sim \triangle ABC$  が成り立ち, その相似比は,  
 $AE : AC = 5 : (5 + 2) = 5 : 7$

よって,  $\triangle ADE : \triangle ABC = 5^2 : 7^2 = 25 : 49$  だから,  
 $\triangle ADE : \text{四角形 DBCE} = 25 : (49 - 25) = \mathbf{25 : 24}$

(4)  $\angle BAD = \angle CAD$  より,  $BD : DC = AB : AC = 8 : 6 = 4 : 3$

したがって, それぞれ BD, BC を底辺とみると, 2つの三角形は高さが等しいので,  
 $\triangle ABD : \triangle ABC = BD : BC = 4 : (4 + 3) = \mathbf{4 : 7}$

(5)  $\triangle BDE : \triangle CDE = 6 : 4 = 3 : 2$

$\triangle BDE = 3S$ ,  $\triangle CDE = 2S$  とおくと,

$\triangle AEC = \triangle CDE \times \frac{4}{3} = \frac{8}{3}S$

$\therefore \triangle BDE : \triangle AEC = 3S : \frac{8}{3}S = \mathbf{9 : 8}$

- 【5】 BE は  $\triangle ABC$  の中線だから,

$$\frac{\triangle ABE}{\triangle ABC} = \frac{AE}{AC} = \frac{1}{2}$$

$$\triangle ABE = \frac{1}{2} \triangle ABC = \frac{1}{2}S$$

F は  $\triangle ABC$  の中線の交点だから, F は  $\triangle ABC$

の重心であることより,

$$BF : FE = 2 : 1$$

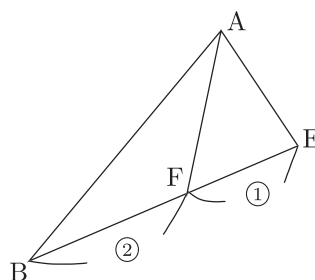
したがって,  $\frac{\triangle AFE}{\triangle ABE} = \frac{FE}{BE} = \frac{1}{3}$

$$\triangle AFE = \frac{1}{3} \triangle ABE$$

$$= \frac{1}{3} \times \frac{1}{2}S$$

$$= \frac{1}{6}S$$

よって,  $\triangle AFE = \frac{1}{6}S$

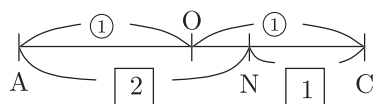


【6】(1)  $AD \parallel BC$  より,  $\triangle AND \sim \triangle CNM$  だから,

$$MN : ND = CM : AD = 1 : 2$$

(2) 平行四辺形の対角線は互いに他を 2 等分するので,

$$AO : OC = 1 : 1$$



$$(1) \text{ より, } AN : NC = AD : CM = 2 : 1$$

$$\text{したがって, } AO : ON : NC = 3 : 1 : 2$$

(3) (1) より,  $\triangle AND \sim \triangle CNM$  で, その相似比は  $2 : 1$  だから,

$$\triangle AND : \triangle CNM = 2^2 : 1^2 = 4 : 1$$

(4) 平行四辺形 ABCD の面積を  $S$  とすると,

$$\triangle ACD = \frac{1}{2}S$$

また, (2) より,

$$\triangle ODN : \triangle ACD = ON : AC = 1 : (3 + 1 + 2) = 1 : 6$$

$$\triangle ODN = \frac{1}{6} \triangle ACD = \frac{1}{6} \times \frac{1}{2}S = \frac{1}{12}S$$

$$\text{したがって, } \triangle ODN : \text{平行四辺形 ABCD} = \frac{1}{12}S : S = \frac{1}{12} : 1 = 1 : 12$$

【7】(1) 2 組の角がそれぞれ等しいから,

$$\triangle BEF \sim \triangle CDF$$

$$\text{ゆえに, } BF : CF = BE : CD = 2 : 3 \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

また, 2 組の角がそれぞれ等しいから,

$$\triangle ABF \sim \triangle GCF$$

$$\text{ゆえに, } BA : CG = BF : CF \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

①, ②より,

$$3 : CG = 2 : 3$$

$$CG = \frac{9}{2}$$

$$\text{よって, } CG = \frac{9}{2} \text{ (cm)}$$

(2)  $\triangle BEF = S$  とする.

高さの等しい三角形の面積比は底辺の比に等しいから,

$$\frac{\triangle ABF}{\triangle BEF} = \frac{AB}{BE} = \frac{3}{2}$$

$$\text{ゆえに, } \triangle ABF = \frac{3}{2} \triangle BEF = \frac{3}{2}S$$

$\triangle ABF \sim \triangle GCF$  より, 相似な三角形の面積比は相似比の 2 乗だから,

$$\frac{\triangle GCF}{\triangle ABF} = \frac{CF^2}{BF^2} = \frac{3^2}{2^2}$$

ゆえに,

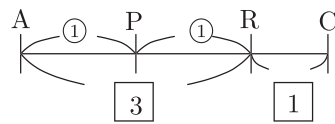
$$\triangle GCF = \frac{9}{4} \triangle ABF$$

$$= \frac{9}{4} \times \frac{3}{2}S = \frac{27}{8}S$$

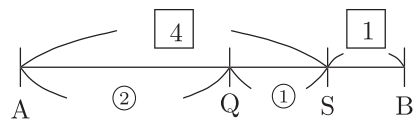
$$\text{よって, } \triangle CFG = \frac{27}{8} \triangle BEF \text{ より, } \frac{27}{8} \text{ (倍)}$$

【8】 (1)  $AR : RC = \triangle SAR : \triangle SRC = \mathbf{3 : 1}$

(2)  $AP : PR = \triangle QAP : \triangle QPR = 1 : 1$  だから, (1) より,  
 $AP : PR : RC = \mathbf{3 : 3 : 2}$



(3)  $AQ : QS = \triangle RAQ : \triangle RQS = 2 : 1$   
 $AS : SB = \triangle CAS : \triangle CSB = 4 : 1$   
 したがって,  
 $AQ : QS : SB = \mathbf{8 : 4 : 3}$



【9】 D から AB, AC にそれぞれ垂線を引き, AB, AC との交点をそれぞれ I, H とする.

$\triangle AID$  と  $\triangle AHD$  において,

$$\angle AID = \angle AHD = 90^\circ$$

AD は共通

仮定より  $\angle IAD = \angle HAD$

以上より, 直角三角形の斜辺と 1 鋭角がそれぞれ等しいので,

$$\triangle AID \equiv \triangle AHD$$

$$\therefore DI = DH \dots\dots ①$$

ここで,  $\triangle ABD$ ,  $\triangle ACD$  の面積比を考える. AB, AC をそれぞれ底辺と見たときの高さは DI, DH となるが, ①より  $DI = DH$  であるから,

$$\triangle ABD : \triangle ACD = AB : AC \dots\dots ②$$

一方, BD, DC を底辺と見ると, 高さは共通なので

$$\triangle ABD : \triangle ACD = BD : DC \dots\dots ③$$

②, ③より,

$$AB : AC = BD : DC \quad (\text{証明終})$$

【10】 (1) AO を底辺とみると, 高さの比が BP : PC であることから明らかなのだが, 「証明せよ」とあるので, ここでは, 高さの比が BP : PC となる理由までしっかりと示しておこう.

《証明》

B, C から AO またはその延長上に下ろした垂線の足をそれぞれ H, K とする.

$\triangle BPH$  と  $\triangle CPK$  において,

$$\angle BPH = \angle CPK, \quad \angle BHP = \angle CKP (= 90^\circ)$$

より, 2 組の角がそれぞれ等しいので,

$$\triangle BPH \sim \triangle CPK$$

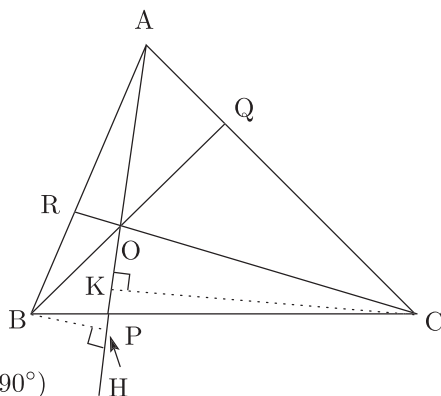
$$\text{したがって, } BP : CP = BH : CK \dots\dots ①$$

ここで, AO を底辺とみると,  $\triangle AOB$  と  $\triangle COA$  の面積比は, 高さの比に等しいわけで,

$$\triangle AOB : \triangle COA = BH : CK \dots\dots ②$$

$$\text{①, ②より, } BP : CP = \triangle AOB : \triangle COA$$

$$\text{つまり, } \frac{BP}{PC} = \frac{\triangle AOB}{\triangle COA} \dots\dots ③ \quad (\text{証明終})$$



(2) (1) と同様にすると,

$$\frac{CQ}{QA} = \frac{\triangle BOC}{\triangle AOB} \dots\dots ④$$

$$\frac{AR}{RB} = \frac{\triangle COA}{\triangle BOC} \dots\dots ⑤$$

③, ④, ⑤の辺々をかけると,

$$\frac{BP}{PC} \times \frac{CQ}{QA} \times \frac{AR}{RB} = \frac{\triangle AOB}{\triangle COA} \times \frac{\triangle BOC}{\triangle AOB} \times \frac{\triangle COA}{\triangle BOC} = 1 \quad (\text{証明終})$$

(3) (2) で導いたことがらを「チェバの定理」という. この定理を用いると,

$$\frac{BP}{PC} \times \frac{CQ}{QA} \times \frac{AR}{RB} = 1$$

$$\frac{BP}{PC} \times \frac{4}{3} \times \frac{5}{2} = 1$$

$$\frac{BP}{PC} = \frac{3}{10}$$

つまり,  $BP : PC = 3 : 10$

【11】 (1)  $\triangle AMQ$  と  $\triangle ABC$  は  $\angle A$  を共有するので, その面積比は,

$$\frac{\triangle AMQ}{\triangle ABC} = \frac{AM}{AB} \times \frac{AQ}{AC} = \frac{1}{2} \times \frac{1}{3} = \frac{1}{6}$$

$$\text{よって, } \triangle AMQ = \frac{1}{6} \triangle ABC = \frac{1}{6} \times 18 = 3 \text{ (cm}^2\text{)}$$

(2) 直接,  $\triangle MPQ$  と  $\triangle ABC$  の面積を比べることはできない.

そこで,  $\triangle MPQ = \triangle ABC - (\triangle AMQ + \triangle BPM + \triangle CQP)$  と考える.

(1) と同様にして,

$$\frac{\triangle BPM}{\triangle ABC} = \frac{BM}{BA} \times \frac{BP}{BC} = \frac{1}{2} \times \frac{2}{3} = \frac{1}{3}$$

$$\text{よって, } \triangle BPM = \frac{1}{3} \triangle ABC = \frac{1}{3} \times 18 = 6$$

$$\text{また, } \frac{\triangle CQP}{\triangle ABC} = \frac{CP}{CB} \times \frac{CQ}{CA} = \frac{1}{3} \times \frac{2}{3} = \frac{2}{9}$$

$$\text{よって, } \triangle CQP = \frac{2}{9} \triangle ABC = \frac{2}{9} \times 18 = 4$$

以上から,

$$\begin{aligned} \triangle MPQ &= \triangle ABC - (\triangle AMQ + \triangle BPM + \triangle CQP) \\ &= 18 - (3 + 6 + 4) \\ &= 5 \text{ (cm}^2\text{)} \end{aligned}$$



【12】 (1)  $\triangle ACE$  と  $\triangle EBF$  において,

$$\angle ACE = \angle EBF \dots\dots ①$$

また,

$$\begin{aligned} \angle ACE + \angle CAE &= \angle AEB \\ &= \angle AED + \angle BEF \end{aligned}$$

$\angle ACE = \angle AED$  より,

$$\angle CAE = \angle BEF \dots\dots ②$$

①, ②より, 2組の角がそれぞれ等しいから,

$$\triangle ACE \sim \triangle EBF$$

よって,

$$AC : EB = CE : BF$$

$$12 : 6 = 2 : BF$$

$$BF = 1$$

ゆえに,  $AF = AB - BF = 12 - 1 = 11$

(2)  $AE = AD = x$  とする.

$\triangle ACE$  と  $\triangle ADF$  において,

$$\angle ACE = \angle ADF \dots\dots ①$$

$$\angle CAE = \angle BAC - \angle FAE$$

$$= \angle DAE - \angle FAE$$

$$= \angle DAF \dots\dots ②$$

①, ②より, 2組の角がそれぞれ等しいから,  $\triangle ACE \sim \triangle ADF$

よって,

$$AC : AD = AE : AF$$

$$12 : x = x : 11$$

$$x^2 = 132$$

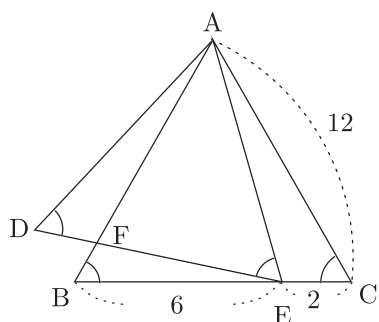
ゆえに,

$$\triangle ABC : \triangle ADE = AC^2 : AD^2$$

$$= 12^2 : x^2$$

$$= 144 : 132$$

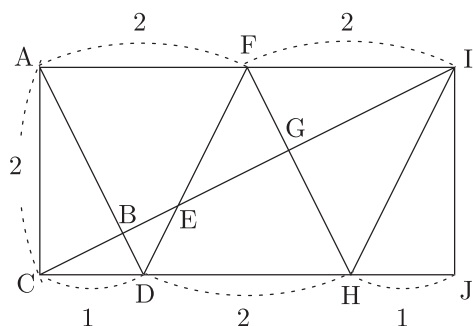
$$= 12 : 11$$



【13】 (1)  $\triangle ABI \sim \triangle DBC$  より,

$$AB : DB = AI : DC$$

$$= 4 : 1$$



(2)  $\triangle IFE \sim \triangle CDE$  より,

$$IE : CE = IF : CD = 2 : 1 \dots\dots ①$$

(1) より,  $IB : BC = 4 : 1 \dots\dots ②$

①, ②より,  $CB : BE : EI = 3 : 2 : 10$

よって,

$$\triangle ABC : \triangle BDE = (4 \times 3) : (1 \times 2)$$

$$= 6 : 1$$

$$(3) \quad \triangle ABC = \triangle ACI \times \frac{CB}{CI} = \frac{1}{2} \times 2 \times 4 \times \frac{1}{5} = \frac{4}{5}$$

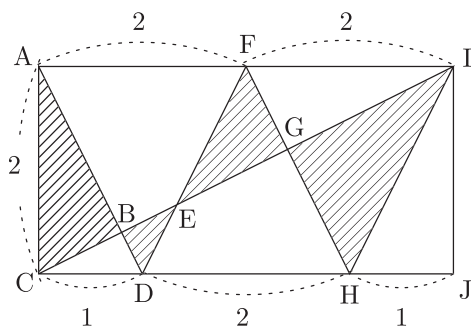
$$\triangle BDE = \triangle ABC \times \frac{1}{6} = \frac{4}{5} \times \frac{1}{6} = \frac{2}{15}$$

$$\triangle EFG = \triangle FDH \times \frac{FE}{FD} \times \frac{FG}{FH} = \frac{1}{2} \times 2 \times 2 \times \frac{2}{3} \times \frac{2}{5} = \frac{8}{15}$$

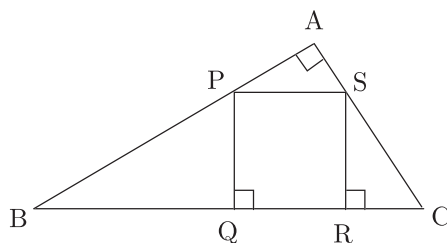
$$\triangle GHI = \triangle ICH \times \frac{IG}{IC} = \frac{1}{2} \times 3 \times 2 \times \frac{2}{5} = \frac{6}{5}$$

よって,

$$S = \triangle ABC + \triangle BDE + \triangle EFG + \triangle GHI = \frac{4}{5} + \frac{2}{15} + \frac{8}{15} + \frac{6}{5} = \frac{8}{3}$$



- 【14】 (1)  $\triangle PBQ$  と  $\triangle CBA$  において,  
 $\angle PBQ = \angle CBA$  (共通)  
 仮定より,  $\angle PQB = \angle CAB = 90^\circ$   
 2組の角がそれぞれ等しいから,  
 $\triangle PBQ \sim \triangle CBA$   
 対応する辺の比は等しいから,  
 $BP : PQ = BC : CA$   
 $= 10 : 6$   
 $= 5 : 3$



- (2)  $\triangle BQP$  と  $\triangle PAS$  において, 仮定より,  
 $\angle BQP = \angle PAS = 90^\circ$   
 $BC \parallel PS$  より,  
 $\angle PBQ = \angle SPA$   
 2組の角がそれぞれ等しいから,  
 $\triangle BQP \sim \triangle PAS$   
 四角形 PQRS は正方形より,  $PQ = PS$  だから,  
 $BP : PS = BP : PQ$   
 (1) の結果より,  
 $BP : PS = 5 : 3$   
 よって, 相似な図形の面積の比は, 相似比の 2 乗だから,  
 $\triangle BQP : \triangle PAS = BP^2 : PS^2$   
 $= 25 : 9$

- (3) (2) より,  $\triangle BQP \sim \triangle PAS$   
 $PQ = PS = x$  とすると,  $BP : PQ = 5 : 3$  より  $BP = \frac{5}{3}x$   
 また,  $PS \parallel BC$  より,  $\triangle APS \sim \triangle ABC$  だから,  $PS : AP = BC : AB = 10 : 8 =$   
 $5 : 4$  より,  $AP = \frac{4}{5}x$   
 よって,  $\frac{5}{3}x + \frac{4}{5}x = 8$   
 $x = \frac{120}{37} \text{ (cm)}$

- (4) (2) と同様にして,  $\triangle BQP \sim \triangle SRC$  だから,  
 $BQ : SR = BQ : PQ$   
 $= 4 : 3$   
 よって,  
 $\triangle BQP : \triangle SRC = 4^2 : 3^2$   
 $= 16 : 9$

【15】C を通り，DA に平行な直線と AB との交点を F とする．また，BA の延長上の点を E とする．

このとき  $AD \parallel FC$  より，平行線の錯角は等しいので，

$$\angle FCA = \angle DAC$$

同位角は等しいので，

$$\angle CFA = \angle DAE$$

これらと，仮定  $\angle DAC = \angle DAE$  より，

$$\angle FCA = \angle CFA$$

よって， $\triangle AFC$  は二等辺三角形であり， $AC = AF$  ……①

一方， $CF \parallel AD$  より，平行線と比の性質より，

$$AB : AF = BD : DC$$

①より，

$$AB : AC = BD : DC \quad (\text{証明終})$$

# 添削課題

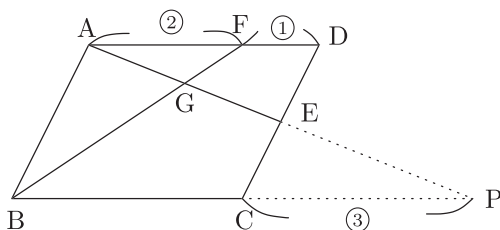
【1】(1) 右図で、 $\triangle ADE \equiv \triangle PCE$  より、

$$PC = AD, \quad AE = \frac{1}{2}AP \quad \dots \textcircled{1}$$

$AD \parallel BP$  より、

$$AG : GP = AF : BP = 1 : 3$$

$$\text{よって、} AG = \frac{1}{4}AP \quad \dots \textcircled{2}$$



①, ②より、 $AE : AG = \frac{1}{2} : \frac{1}{4} = 2 : 1$  だから、

$$\frac{\triangle AGF}{\triangle AED} = \frac{AF}{AD} \times \frac{AG}{AE} = \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{3}$$

(2) 平行四辺形 ABCD の面積  $S$  とすると、 $\triangle ACD = \frac{1}{2}S$

$$\triangle AED = \frac{DE}{DC} \times \triangle ACD = \frac{1}{2} \times \frac{1}{2}S = \frac{1}{4}S \text{ だから、}$$

$$\triangle AGF = \frac{1}{3} \triangle AED = \frac{1}{3} \times \frac{1}{4}S = \frac{1}{12}S$$

よって、 $\frac{1}{12}$  倍

【2】(1)  $\triangle ABI \sim \triangle FDI$  より、

$$AI : FI = AB : FD = 3 : 2$$

(2) (1) より、 $DI : IB = 2 : 3$

また、 $DH = HB$  であるから、

$$DI : IH : HB = 4 : 1 : 5$$

すなわち、 $DI : IH = 4 : 1$

(3)  $\triangle ACD$  の面積を  $S$  とする。

$$DF : FC = 2 : 1 \text{ より、} \triangle ACF = \frac{1}{3} \triangle ACD = \frac{1}{3}S$$

$\triangle ACF$  において、 $AH : AC = 1 : 2$ ,  $AI : AF = 3 : 5$  より、

$$\triangle AHI = \frac{1}{2} \times \frac{3}{5} \times \triangle ACF = \frac{1}{10}S \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\text{また、} AH = HC \text{ より、} \triangle DCH = \frac{1}{2} \triangle ACD = \frac{1}{2}S$$

$\triangle DCH$  において、 $DF : DC = 2 : 3$ ,  $DI : DH = 4 : 5$  より、

$$\triangle DFI = \frac{2}{3} \times \frac{4}{5} \times \triangle DCH = \frac{4}{15}S \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より、} \triangle AHI : \triangle DFI = \frac{1}{10}S : \frac{4}{15}S = 3 : 8$$

<別解>

$\triangle AHI$  と  $\triangle FDI$  において、 $\angle AIH = \angle FID$  より、

$$\triangle AHI : \triangle FDI = (AI \times HI) : (FI \times DI)$$

$$= (3 \times 1) : (2 \times 4)$$

$$= 3 : 8$$

- 【3】 (1)  $\triangle ABP$  と  $\triangle ACP$  は底辺  $AP$  が共通であるから、面積の比は高さの比に等しい。  $AE$  またはその延長上に  $B, C$  から下ろした垂線をそれぞれ  $BF, CG$  とすると、

$$\angle BFE = \angle CGE = 90^\circ$$

より、錯角が等しいから、 $BF \parallel GC$

よって、 $\triangle BEF \sim \triangle CEG$  だから、

$$BF : CG = BE : EC$$

これより、

$$\triangle ABP : \triangle ACP = BF : CG = BE : CE = 3 : 2 \quad (\text{証明終})$$

- (2) 右の図のように、 $\triangle ABP$ ,  $\triangle BCP$ ,  $\triangle CAP$  の面積をそれぞれ  $S_1, S_2, S_3$  とすると、(1) より

$$S_1 : S_3 = 3 : 2$$

同様に、 $S_2 : S_3 = BD : DA = 2 : 3$

よって、 $S_1 : S_2 : S_3 = 9 : 4 : 6$

だから、

$$CQ : QA = S_2 : S_1 = 4 : 9$$

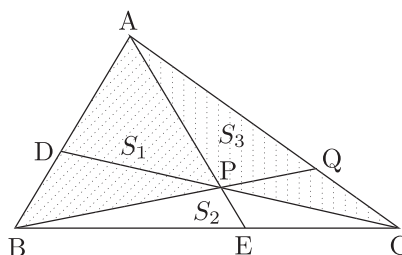
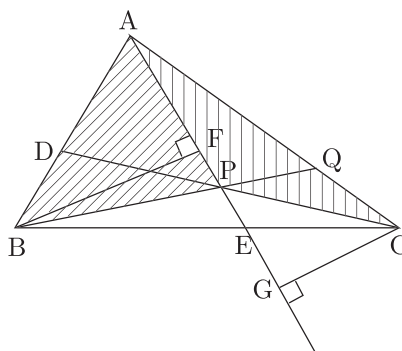
- (3) 底辺を  $BP, PQ$  とすると高さ共通より、

$$\triangle ABP : \triangle APQ = BP : PQ$$

同様に、 $\triangle CBP : \triangle CPQ = BP : PQ$  だから、

$$(\triangle ABP + \triangle CBP) : (\triangle APQ + \triangle CPQ) = BP : PQ$$

よって、 $BP : PQ = (S_1 + S_2) : S_3 = (9 + 4) : 6 = 13 : 6$



## 小テスト

【1】 四角形 ABCD は平行四辺形より,  $BO = DO$

$\triangle ABD$  において, E は 2 本の中線 AO, BF の交点より, 重心であるといえる.

よって,  $AE : EO = 2 : 1$

$AO = CO$  より,  $AE : EO : OC = 2 : 1 : (2 + 1) = \mathbf{2 : 1 : 3}$

# 13章 相似 (5)

## 問題

- 【1】(1) 相似比  $1:2$  より, ①  $1:8$ , ②  $1:4$

■確認

A の体積  $V_A$ , B の体積  $V_B$  とすると,  $V_A = abc$ ,  $V_B = (2a) \times (2b) \times (2c) = 8abc$

$$\therefore V_A : V_B = abc : 8abc = 1 : 8$$

A の表面積  $S_A$ , B の表面積  $S_B$  とすると,

$$S_A = 2(ab + bc + ca), S_B = 2\{(2a) \times (2b) + (2b) \times (2c) + (2c) \times (2a)\} = 8(ab + bc + ca)$$

$$\therefore S_A : S_B = 2(ab + bc + ca) : 8(ab + bc + ca) = 1 : 4$$

- (2) 相似比  $2:3$  より, ①  $2^3:3^3 = 8:27$ , ②  $2^2:3^2 = 4:9$

- (3) 相似比  $\frac{5}{6} : \frac{10}{9} = \frac{5}{6} \times \frac{18}{5} : \frac{10}{9} \times \frac{18}{5} = 3:4$  より,

$$\textcircled{1} 3^3:4^3 = 27:64, \textcircled{2} 3^2:4^2 = 9:16$$

- 【2】(1) 正方形 ABCD  $\sim$  正方形 EFGH

相似比は,  $AB:EF = PA:PE = 4:1$

したがって, 面積比は, (正方形 ABCD) : (正方形 EFGH) =  $16:1$

よって,

$$8 \times 8 : (\text{正方形 EFGH}) = 16 : 1$$

$$(\text{正方形 EFGH}) = 4 \text{ (cm}^2\text{)}$$

- (2) (四角すい P-ABCD)  $\sim$  (四角すい P-EFGH)

相似比は  $4:1$  であるから,

体積比は (四角すい P-ABCD) : (四角すい P-EFGH) =  $4^3:1^3 = 64:1$

よって, **64 (倍)**

- 【3】(1)  $\triangle ABC \sim \triangle DEF$  で,

相似比は,

$$BC:EF = OC:OF = 10:4 = 5:2$$

したがって, 面積比は,

$$\triangle ABC \sim \triangle DEF = 5^2:2^2 = 25:4$$

$$75 : \triangle DEF = 25 : 4$$

よって,  $\triangle DEF = 12 \text{ (cm}^2\text{)}$

- (2) (三角すい O-ABC)  $\sim$  (三角すい O-DEF) で,

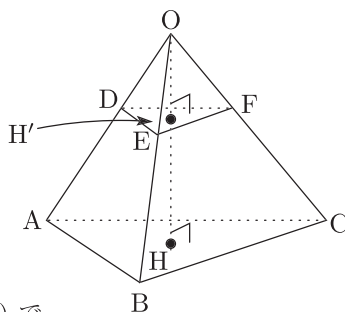
相似比は,  $OC:OF = 5:2$

よって,

$$OH:OH' = 5:2$$

$$8:OH' = 5:2$$

$$OH' = \frac{16}{5} \text{ (cm)}$$





- (3) (2) より, 三角すい  $O-ABC$  と三角すい  $O-DEF$  の体積比は,  
 $5^3 : 2^3 = 125 : 8$

$$\text{ここで, (三角すい } O-ABC) = \frac{1}{3} \times 75 \times 8 = 200$$

$$\text{よって, (三角すい } O-DEF) = \frac{8}{125} \times 200 = \frac{64}{5}$$

$$\text{したがって, (三角すい台 } DEF-ABC) = 200 - \frac{64}{5} = \frac{936}{5} \text{ (cm}^3\text{)}$$

<別解>

$$\text{(三角すい } O-ABC) : \text{(三角すい } O-DEF) = 125 : 8 \text{ より,}$$

$$\text{(三角すい台 } DEF-ABC) = \text{(三角すい } O-ABC) \times \left(1 - \frac{8}{125}\right)$$

$$= 200 \times \frac{117}{125}$$

$$= \frac{936}{5} \text{ (cm}^3\text{)}$$

- 【4】 (1)  $O-ABCD$  の体積を  $V$  とする

と,  $O-EFGH$  と  $O-ABCD$  の

相似比が  $1 : 2$  なので,

$$V_1 : V = 1^3 : 2^3 = 1 : 8$$

$$\therefore V_1 = \frac{1}{8}V$$

$$\therefore V_2 = V - \frac{1}{8}V = \frac{7}{8}V$$

$$\therefore V_1 : V_2 = \frac{1}{8}V : \frac{7}{8}V = 1 : 7$$

- (2)  $O-IJKL$  と  $O-ABCD$  の相似比は,

$$OI : OA = \frac{3}{4}OA : OA = 3 : 4$$

$O-IJKL$  の体積は  $(V_1 + V_3)$  と表せるので,

$$(V_1 + V_3) : V = 3^3 : 4^3 = 27 : 64$$

$$\therefore V_1 + V_3 = \frac{27}{64}V$$

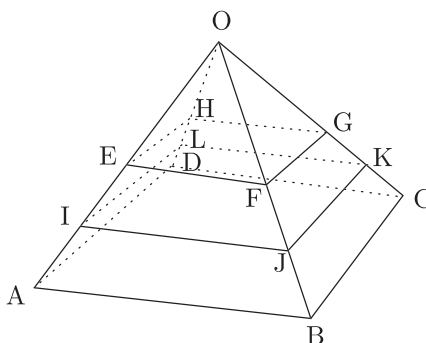
$$V_1 = \frac{1}{8}V \text{ より,}$$

$$V_3 = \frac{27}{64}V - \frac{1}{8}V = \frac{27-8}{64}V = \frac{19}{64}V$$

一方,

$$V_4 = V - (V_1 + V_3) = V - \frac{27}{64}V = \frac{64-27}{64}V = \frac{37}{64}V$$

$$\therefore V_3 : V_4 = \frac{19}{64}V : \frac{37}{64}V = 19 : 37$$



【5】(1) (側面の展開図の中心角)  $= \frac{6}{10} \times 360^\circ = 216^\circ$

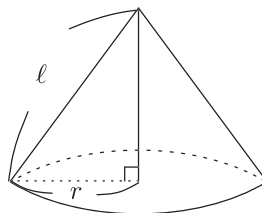
よって, (側面積)  $= 10^2 \pi \times \frac{216}{360} = 60\pi \text{ (cm}^2\text{)}$

<別解>

母線の長さが  $\ell$ , 底面の半径が  $r$  である円すいの側面積は,

$$S = \pi \ell r$$

で求められる. よって, (側面積)  $= \pi \times 10 \times 6 = 60\pi \text{ (cm}^2\text{)}$



- (2) 斜線部の円すいの側面積を  $S$ , 円すい台の側面積を  $S'$  とする.

(1) より,  $S + S' = 60\pi$

条件より,

$$S' = 45\pi$$

$$\therefore S = 15\pi$$

よって,  $(S + S') : S = 4 : 1 = 2^2 : 1^2 \dots\dots ①$

ここで, 斜線部の円すいと, もとの円すいは相似であるから, ①より, 相似比は,  $2 : 1$  であるとわかる. よって, 体積比は,  $2^3 : 1^3 = 8 : 1$  である.

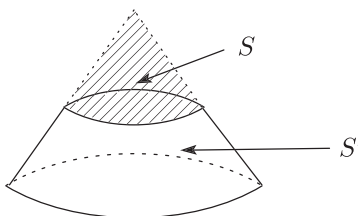
したがって,

$$\begin{aligned} (\text{円すい台の体積}) &= 6^2 \pi \times 8 \times \frac{1}{3} - 6^2 \pi \times 8 \times \frac{1}{3} \times \frac{1}{8} \\ &= 84\pi \text{ (cm}^3\text{)} \end{aligned}$$

<別解>

体積比は,  $8 : 1$  より,

$$\begin{aligned} (\text{円すい台の体積}) &= (\text{もとの円すいの体積}) \times \left(1 - \frac{1}{8}\right) \\ &= 6^2 \pi \times 8 \times \frac{1}{3} \times \frac{7}{8} \\ &= 84\pi \text{ (cm}^3\text{)} \end{aligned}$$



- 【6】(1) C を頂点, 面 OAB を底面とみると, 三角すい C-OAB と C-OPB は高さが等しいので,

$$V : V_1 = \triangle OAB : \triangle OPB = OA : OP = 3 : 2$$

$$\therefore V_1 = \frac{2}{3} V$$

- (2) 同じく C を頂点, 面 OAB を底面とみると,

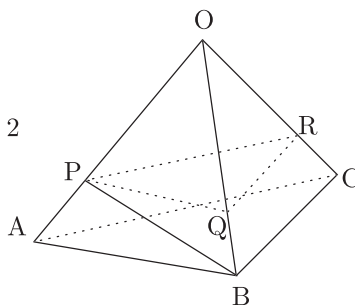
$$\begin{aligned} V_1 : V_2 &= \triangle OPB : \triangle OPQ \\ &= OB : OQ = 3 : 2 \end{aligned}$$

$$\therefore V_2 = \frac{2}{3} V_1 = \frac{2}{3} \times \left(\frac{2}{3} V\right) = \frac{4}{9} V$$

- (3) P を頂点, 面 OBC を底面とみると,

$$V_2 : V_3 = \triangle OQC : \triangle OQR = OC : OR = 3 : 2$$

$$\therefore V_3 = \frac{2}{3} V_2 = \frac{2}{3} \times \frac{4}{9} V = \frac{8}{27} V$$



- 【7】 面 ADB において, BG は  $\angle ABD$  の二等分線なので  
 $AG : GD = AB : DB = 4 : 2 = 2 : 1 \dots \textcircled{1}$

GE//DB より,

$$AE : EB = AG : GD = 2 : 1 \dots \textcircled{2}$$

面 ABC において,

$$AF : FC = AB : CB = 4 : 3 \dots \textcircled{3}$$

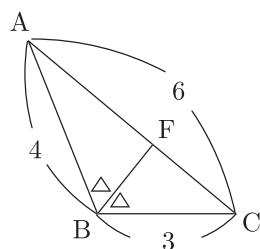
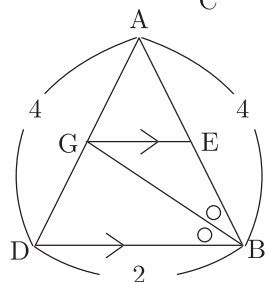
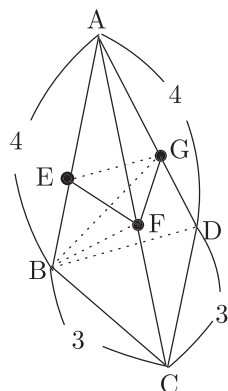
三角すい A-BCD の体積を  $V$ , 三角すい A-EFG の体積を  $V_1$ , 三角すい台 EFG-BCD の体積を  $V_2$  とすると,

①, ②, ③ より,

$$V_1 = \frac{2}{3} \times \frac{2}{3} \times \frac{4}{7} V = \frac{16}{63} V$$

$$\therefore V_2 = V - V_1 = \frac{63-16}{63} V = \frac{47}{63} V$$

$$\therefore V_1 : V_2 = \frac{16}{63} V : \frac{47}{63} V = 16 : 47$$

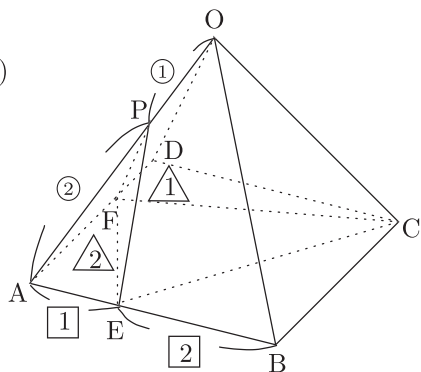


- 【8】 (1) (三角すい P-AEF)

$$= \frac{1}{3} \times \frac{2}{3} \times \frac{2}{3} \times (\text{三角すい O-ABD})$$

$$= \frac{4}{27} \times \frac{V}{2}$$

$$= \frac{2}{27} V$$



(2) 正方形 ABCD の面積を  $S$  とすると、

$$\triangle AEF = \frac{1}{3} \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} S = \frac{1}{9} S$$

$$\triangle DFC = \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} S = \frac{1}{6} S$$

$$\triangle CBE = \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} S = \frac{1}{3} S$$

よって、

$$\begin{aligned} \triangle CEF &= S - \left( \frac{1}{9} S + \frac{1}{6} S + \frac{1}{3} S \right) \\ &= \frac{7}{18} S \end{aligned}$$

また、四角すい O-ABCD と三角すい

P-CEF の高さの比は、

$$OA : PA = 3 : 2$$

ゆえに、

$$(\text{三角すい P-CEF}) = \frac{7}{18} \times \frac{2}{3} \times V = \frac{7}{27} V$$

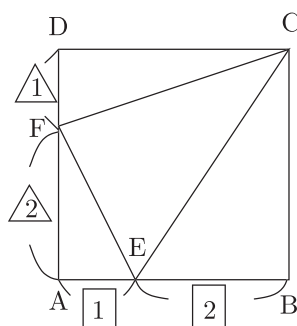
<別解>

それぞれの三角形を  $S$  を用いて表した後、以下のように解く方法もある。

$$\triangle AEF : \triangle CEF = \frac{1}{9} S : \frac{7}{18} S = 2 : 7$$

三角すい P-AEF と三角すい P-CEF は高さが等しいから、

$$(\text{三角すい P-CEF}) = \frac{2}{27} V \times \frac{7}{2} = \frac{7}{27} V$$



【9】

(1) 相似比  $\frac{1}{2}$  なので、 $\left(\frac{1}{2}\right)^3 \times V = \frac{V}{8}$

(2)  $V - \frac{V}{8} \times 4 = \frac{V}{2}$

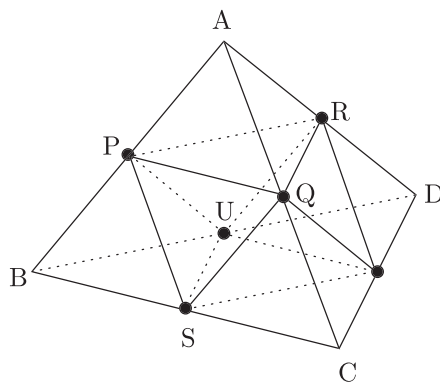
(3) 正四面体 A-BCD の表面積を  $S$  とすると、 $\triangle ABC = \frac{S}{4}$

$$\therefore \triangle PQS = \frac{S}{4} \times \frac{1}{4} = \frac{S}{16}$$

求める立体は、この  $\frac{S}{16}$  の面積の三角形 8 つで囲まれているので、

$$\frac{S}{16} \times 8 = \frac{S}{2} \quad \therefore \frac{1}{2} \text{ 倍}$$

(4) 正八面体



【10】四角すい  $O-ABCD$  の体積を  $V$  とする.

$A, B, P$  を通る平面が辺  $OD$  と交わる点を  $Q$  とすると,  $PQ \parallel CD$  より,

$$OQ : QD = OP : PC = 3 : 2$$

ここで四角すい  $O-ABCD$  を  $O, A, C$  を通る平面で切断すると, 2つの三角すい  $O-ABC$  と  $O-ADC$  の体積は等しい ( $\because \triangle ABC = \triangle ADC$ ) ので, 共に体積は  $\frac{1}{2}V$  となる.

(i) 三角すい  $O-ABC$  において

$OP : OC = 3 : 5$  より, 三角すい  $O-ABP$  の体積を  $V_1$  とすると,

$$V_1 = \frac{3}{5} \times \frac{1}{2}V = \frac{3}{10}V \dots \textcircled{1}$$

(ii) 三角すい  $O-ADC$  において

$OP : OC = OQ : OD = 3 : 5$  より, 三角すい  $O-APQ$  の体積を  $V_2$  とすると,

$$V_2 = \left(\frac{3}{5}\right)^2 \times \frac{1}{2}V = \frac{9}{50}V \dots \textcircled{2}$$

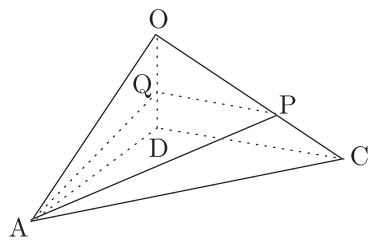
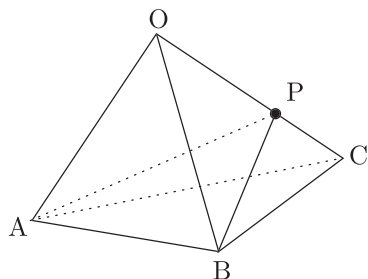
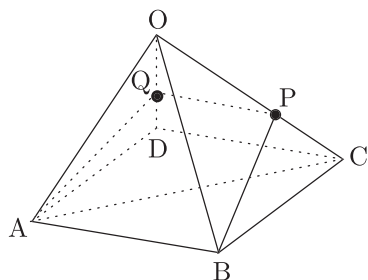
①, ② より, 2つの立体のうち  $O$  を含む側の体積  $V_3$  は

$$\begin{aligned} V_3 &= V_1 + V_2 = \left(\frac{3}{10} + \frac{9}{50}\right)V \\ &= \frac{24}{50}V = \frac{12}{25}V \end{aligned}$$

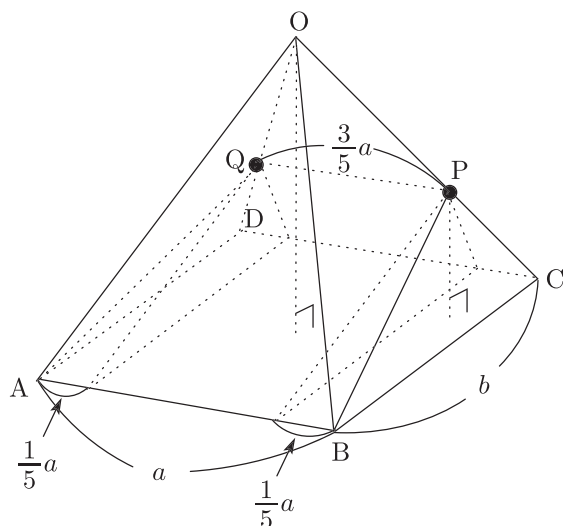
よって残りの部分の体積  $V_4$  は

$$V_4 = V - V_3 = \frac{13}{25}V$$

$$\therefore V_3 : V_4 = \frac{12}{25}V : \frac{13}{25}V = 12 : 13$$



<別解>



図のように下の立体を，2つの四角すいと，三角柱に分けて考える．

$AB = a$ ， $BC = b$  とする．

また，四角すい  $O-ABCD$  の高さを  $h$  とすると，下の立体内の四角すいの高さは  $\frac{2}{5}h$  とかける．

$$\begin{aligned} \text{下の立体} &= b \times \frac{2}{5}h \times \frac{1}{2} \times \frac{3}{5}a + \frac{1}{5}a \times b \times \frac{2}{5}h \times \frac{1}{3} \times 2 \\ &= \frac{3}{25}abh + \frac{4}{75}abh \\ &= \frac{13}{75}abh \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{上の立体} &= a \times b \times h \times \frac{1}{3} - \frac{13}{75}abh \\ &= \frac{1}{3}abh - \frac{13}{75}abh \\ &= \frac{12}{75}abh \end{aligned}$$

以上より，

$$\frac{12}{75}abh : \frac{13}{75}abh = \mathbf{12 : 13}$$

# 添削課題

【1】円すい P と全体の円すいは相似で、その相似比は、 $(8 - 2) : 8 = 3 : 4$

よって、体積比は、 $3^3 : 4^3 = 27 : 64$

したがって、P と Q の体積比は、 $27 : (64 - 27) = 27 : 37$

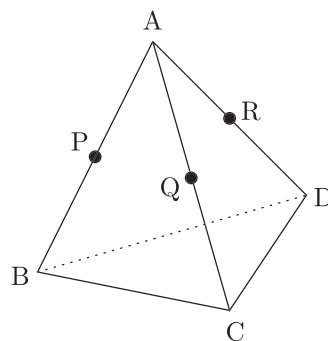
ゆえに、P よりも Q の方が体積が大きく、Q の体積は全体の体積の  $\frac{37}{64}$  であるから、

$$\left(\frac{1}{3} \times 3^2 \pi \times 8\right) \times \frac{37}{64} = \frac{111}{8} \pi$$

【2】(1) A-PQR と A-BCD の体積比が  $1^3 : 2^3 = 1 : 8$

なので、求める体積は

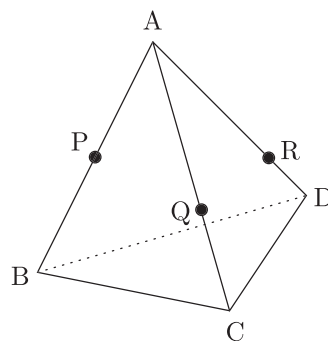
$$96 \times \left(1 - \frac{1}{8}\right) = 96 \times \frac{7}{8} = 84(\text{cm}^3)$$



(2) A-PQR は A-BCD の  $\frac{1}{2} \times \frac{2}{3} \times \frac{3}{4} = \frac{1}{4}$  で

あるので、求める体積は

$$96 \times \left(1 - \frac{1}{4}\right) = 96 \times \frac{3}{4} = 72(\text{cm}^3)$$



【3】(1) 切断した小さい方の立体は、図の三角すい

R-EFG の一部である三角すい台である.

AP : PB = 1 : 1 より, EP : PR = 1 : 1 つ

まり RB = BF = a

よって, R-EFG の体積は

$$\frac{1}{3} \times \left( \frac{1}{2} \times a \times a \right) \times 2a = \frac{1}{3}a^3$$

R-PBQ と R-EFG の相似比が 1 : 2 である

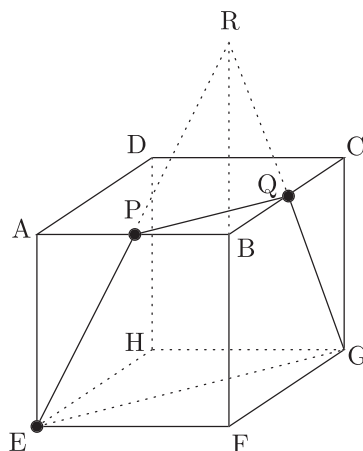
ことより,

三角すい台 PQB-EGF の体積は

$$\frac{1}{3}a^3 \times \left\{ 1 - \left( \frac{1}{2} \right)^3 \right\} = \frac{7}{24}a^3$$

よって 2 つの部分の体積比は

$$\left( 1 - \frac{7}{24} \right) a^3 : \frac{7}{24}a^3 = \frac{17}{24}a^3 : \frac{7}{24}a^3 = \mathbf{17 : 7}$$



(2) AP : PB = 1 : 2 より, EP : PR = FB : BR = 1 : 2

∴ RF = 3BF = 3a

また, R-PBQ と R-EFG の相似比は, RB : RF = 2a : 3a = 2 : 3

よって

$$\begin{aligned} \text{PQB} - \text{EGF} &= \frac{1}{3} \times \left( \frac{1}{2} \times a \times a \right) \times 3a \times \left\{ 1 - \left( \frac{2}{3} \right)^3 \right\} \\ &= \frac{a^3}{2} \times \frac{19}{27} = \frac{19}{54}a^3 \end{aligned}$$

以上より, 求める体積比は

$$\left( 1 - \frac{19}{54} \right) a^3 : \frac{19}{54}a^3 = \frac{35}{54}a^3 : \frac{19}{54}a^3 = \mathbf{35 : 19}$$



## 小テスト

【1】 (1)  $AD : AB = AE : AC = 1 : 3$  より

$$DE \parallel BC, \quad DE : BC = 1 : 3$$

$$\text{よって, } BF : FE = BC : DE = 3 : 1$$

(2)  $\triangle DEF \sim \triangle CBF$  (相似比 1:3) より

$$\triangle DEF : \triangle CBF = 1 : 9$$

(3)  $\triangle DEF = S$  とする.

(2) より,  $\triangle CBF = 9S$

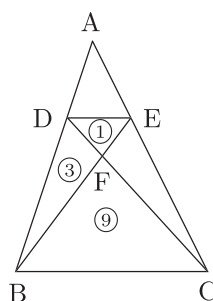
$$\frac{\triangle DBF}{\triangle DEF} = \frac{BF}{FE} = \frac{3}{1} \text{ より, } \triangle DBF = 3S$$

$$\text{よって, } \triangle CBD = \triangle DBF + \triangle CBF = 12S$$

$$\frac{\triangle CAD}{\triangle CBD} = \frac{AD}{DB} = \frac{1}{2} \text{ より, } \triangle CAD = \frac{1}{2} \triangle CBD = 6S$$

以上より

$$\triangle ABC = \triangle CAD + \triangle CBD = (6 + 12)S = 36$$







2MJSS/2MJS/2MJ  
中2 選抜東大・医学部数学  
中2 数学  
中2 東大数学



会員番号

氏 名